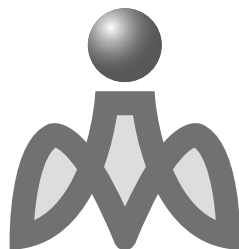


山 梨 県

商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔令和2年10月～12月実績〕
〔令和3年1月～3月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目 次

I 調 査 要 領	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観	3
(2) 主な項目で見る業況	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観	6
(2) 主な項目で見る業況	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観	9
(2) 主な項目で見る業況	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観	12
(2) 主な項目で見る業況	12

【I】 調 査 要 領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

2. 調査対象期間

第3四半期 令和2年10月～12月期 「調査時点：令和2年11月15日」

3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サ ー ビ ス 業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

5. そ の 他

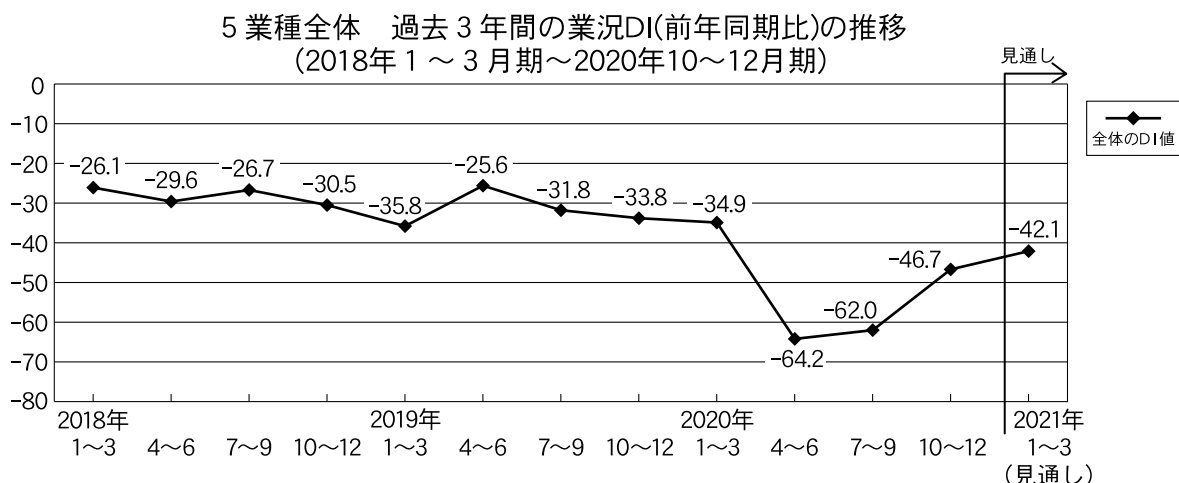
本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

【Ⅱ】 景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び、産業別の業況判断D Iについてみる。

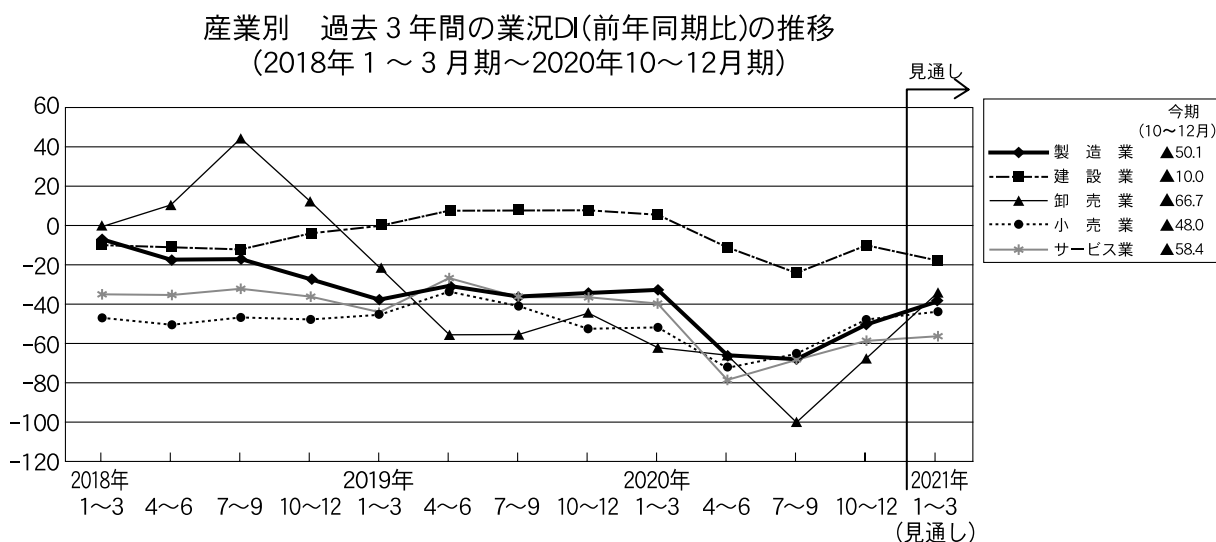
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D Iは、▲46.7と依然厳しい数値ではあるが、前期比+15.3ポイントの大幅な改善を示している。来期についても▲42.1へ改善の見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

製造業が▲50.1と前期比で+17.9ポイント、建設業が▲10.0と前期比で+15.0ポイント、卸売業が▲66.7と前期比で+33.3ポイント、小売業が▲48.0と前期比で+16.8ポイント、サービス業が▲58.4と前期比で+9.4ポイント、全業種で改善となっている。

来期は、建設業が悪化の見通しであるが、製造業、卸売業、小売業、サービス業は改善の見通しとなっている。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの124企業を含めた289サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

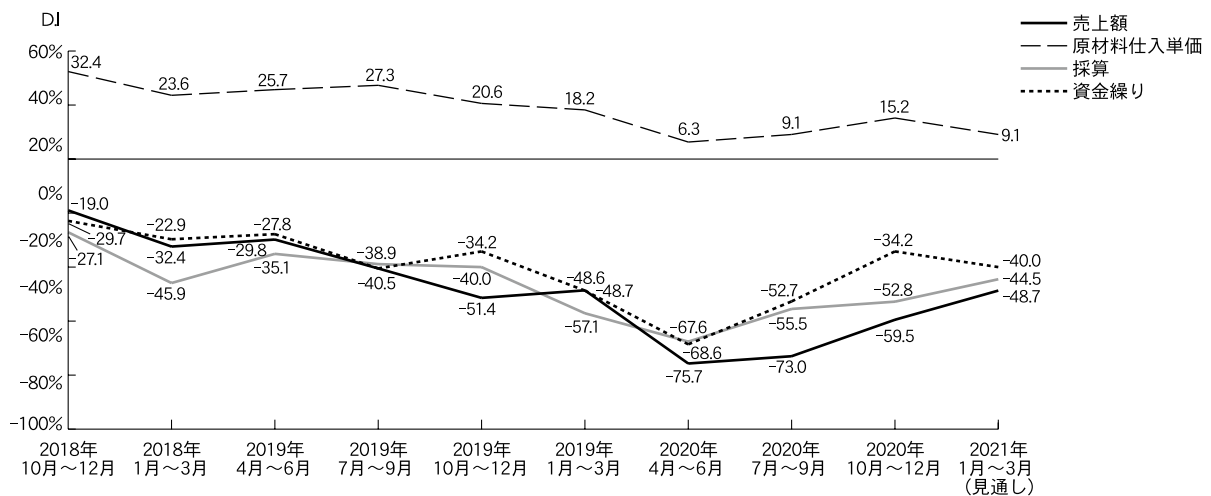
2. 製造業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲59.5と前期比で13.5ポイント改善し、来期も▲48.7へと改善の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期は15.2と前期比で6.1ポイント上昇（悪化）したが、来期は9.1に改善する見通し。採算D Iは、今期は▲52.8と前期比で2.7ポイント改善し、来期も▲44.5へと改善の見通し。資金繰りD Iは、今期は▲34.2と前期比で18.5ポイント改善したものの、来期は▲40.0と悪化の見通しである。

今期は原材料仕入単価D I以外の全てのD Iが改善し、来期は資金繰りD I以外の全てのD Iが改善の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

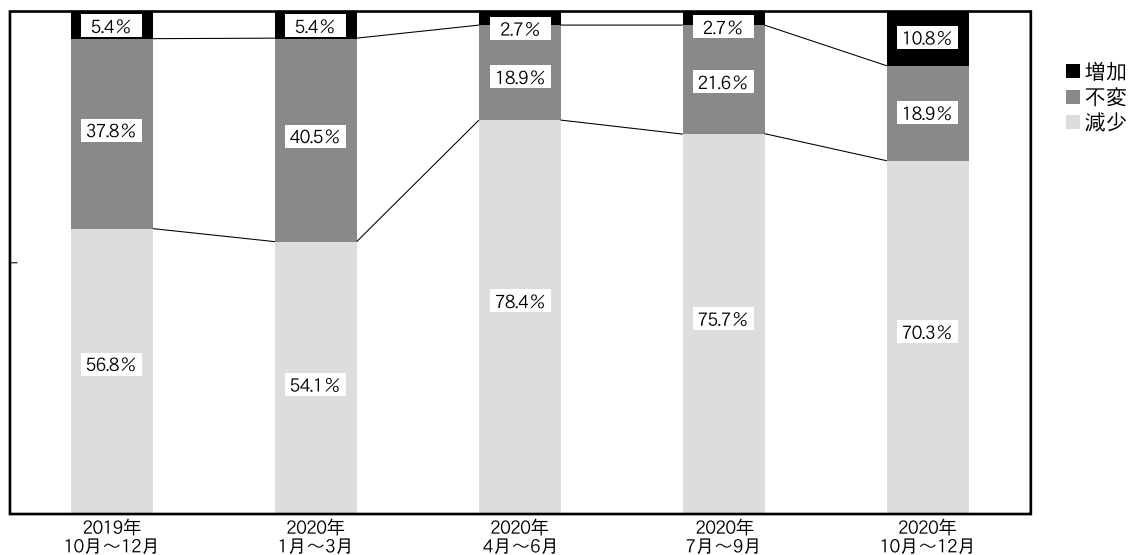
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、10.8%（4社）と増加（前期比+3社）している。

「不変」は18.9%（7社）と減少（前期比▲1社）、

「減少」は70.3%（26社）と減少（前期比▲2社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D Iの内容（回答企業数36社））

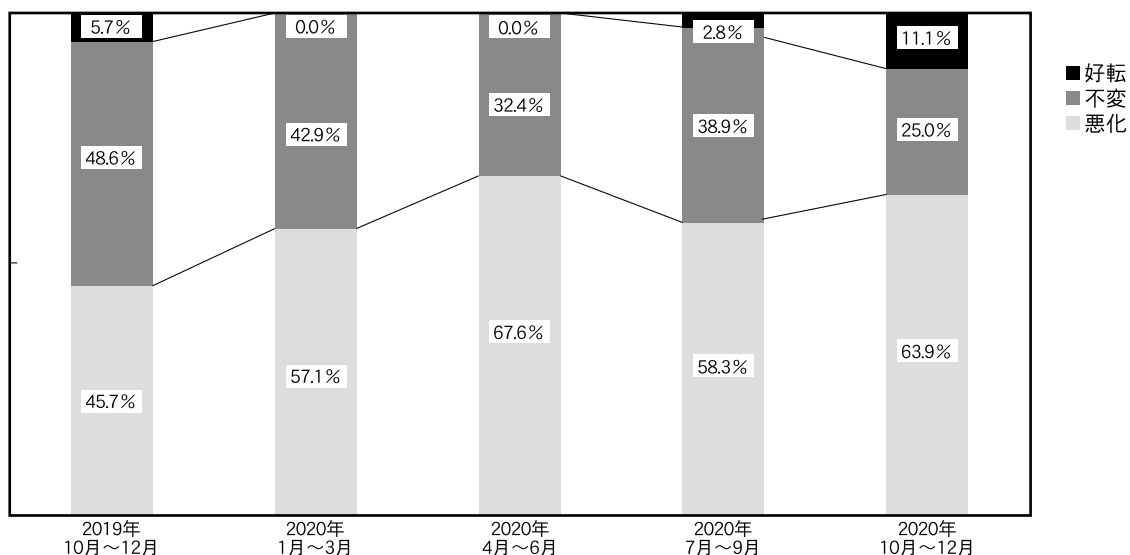
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、11.1%（4社）と増加（前期比+3社）している。

「不変」は25.0%（9社）と減少（前期比▲5社）、

「悪化」は63.9%（23社）と増加（前期比+2社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

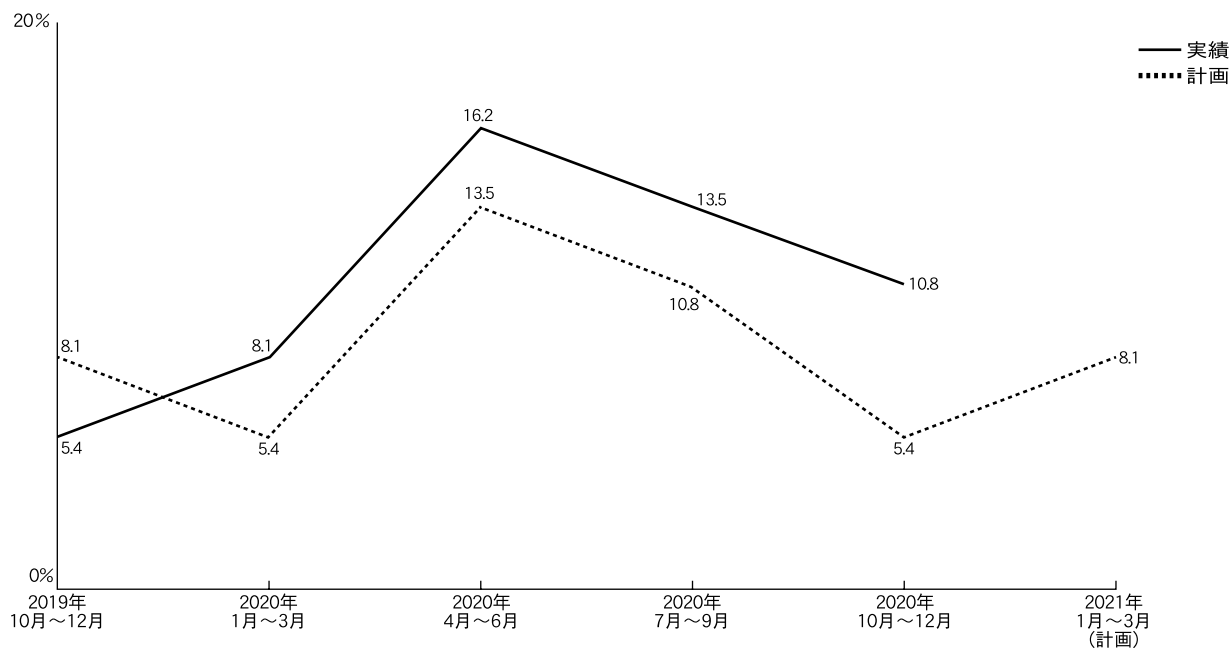


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は10.8%（4社）であった。その設備投資の内容は、「生産設備」が2件、「車両・運搬具」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、8.1%（3社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「生産設備」「車両・運搬具」「その他」が1件ずつである。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数34社）

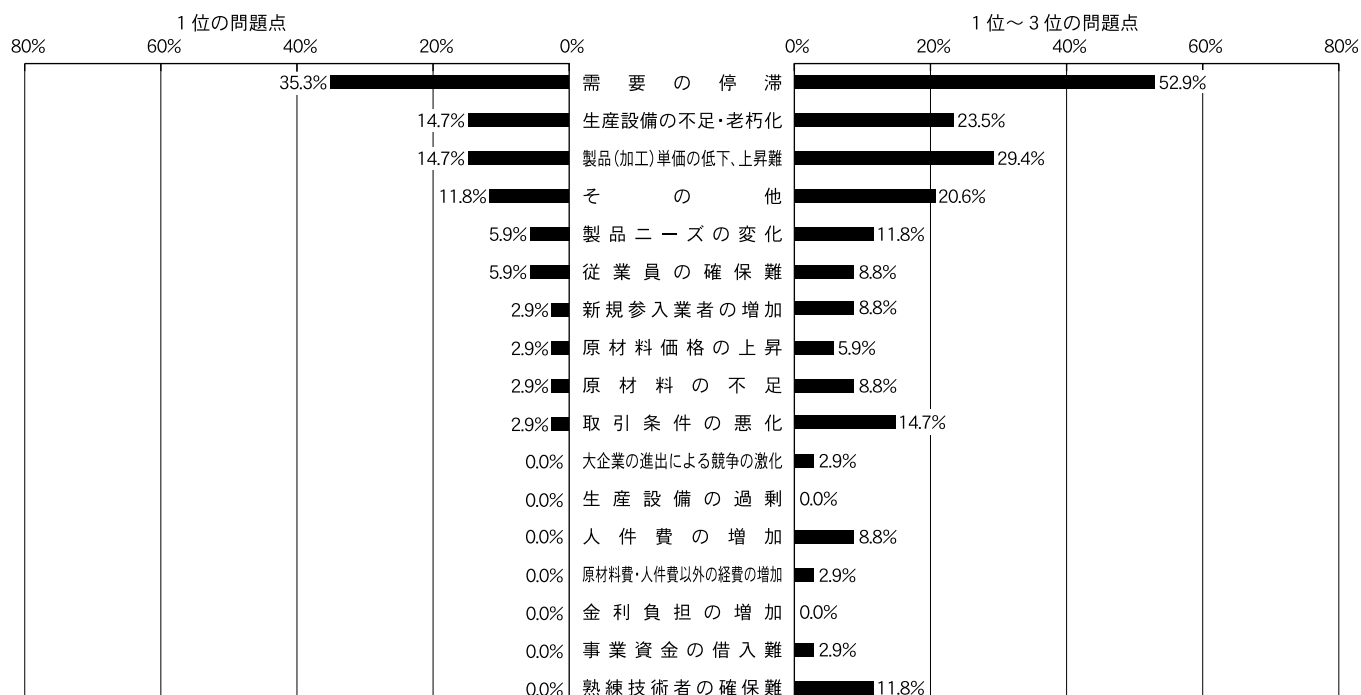
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の35.3%（12社）であり、2番目は、「生産設備の不足・老朽化」と「製品（加工）単価の低下、上昇難」との14.7%（5社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の52.9%（18社）であり、2番目は、「製品（加工）単価の低下、上昇難」の29.4%（10社）である。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	4	10.8
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	3	8.1
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	3	8.1
金属製品製造業	2	5.4
一般機械器具製造業	14	37.9
電気機械器具製造業	4	10.8
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	4	10.8
合計	37	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	17	46.0	15	40.6
3人～5人以下	9	24.3	7	18.9
6人～10人以下	6	16.2	9	24.3
11人～20人以下	5	13.5	6	16.2
合計	37	100.0	37	100.0

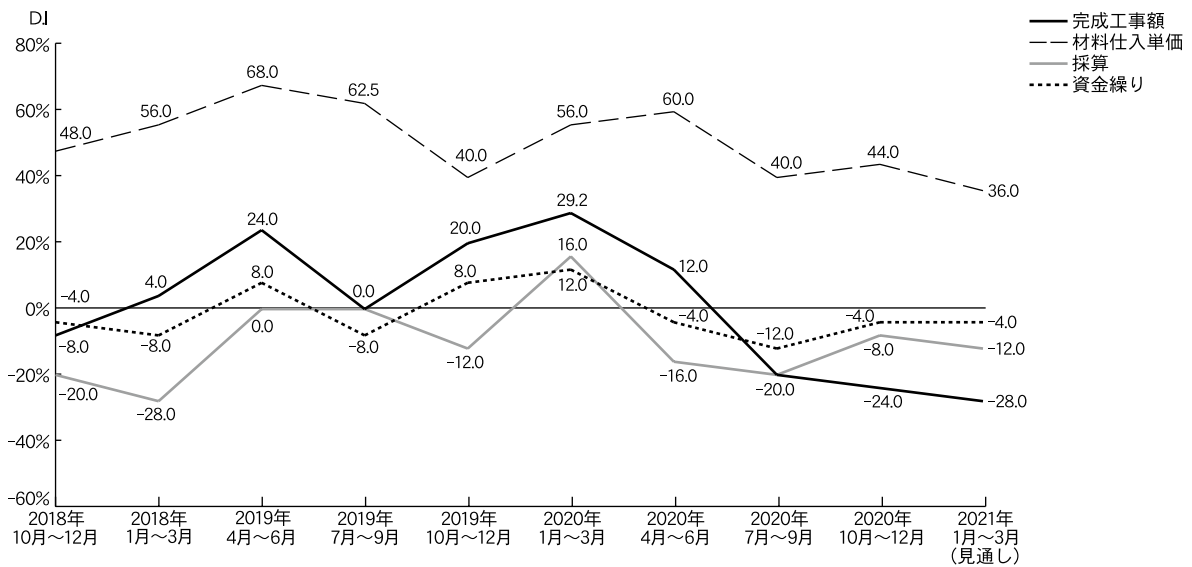
3. 建設業の動向

(1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期は▲24.0と前期比で4.0ポイント悪化し、来期も▲28.0とさらに悪化の見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は44.0と前期比4.0ポイント上昇（悪化）しているが、来期は36.0と改善の見通しである。採算D Iは、今期は▲8.0と前期比12.0ポイント改善しているが、来期は▲12.0と悪化する見通し。資金繰りD Iは、今期は▲4.0と前期比8.0ポイント改善しており、来期は変化なく▲4.0の見通しである。

今期は完成工事額D Iと材料仕入単価D Iが悪化し、採算D Iと資金繰りD Iが改善。来期は完成工事額D Iと採算D Iが悪化し、材料仕入単価D Iが改善、資金繰りD Iが変化なしの見通しである。

山梨県 建設業 主要景況項目の推移－前年同期比－

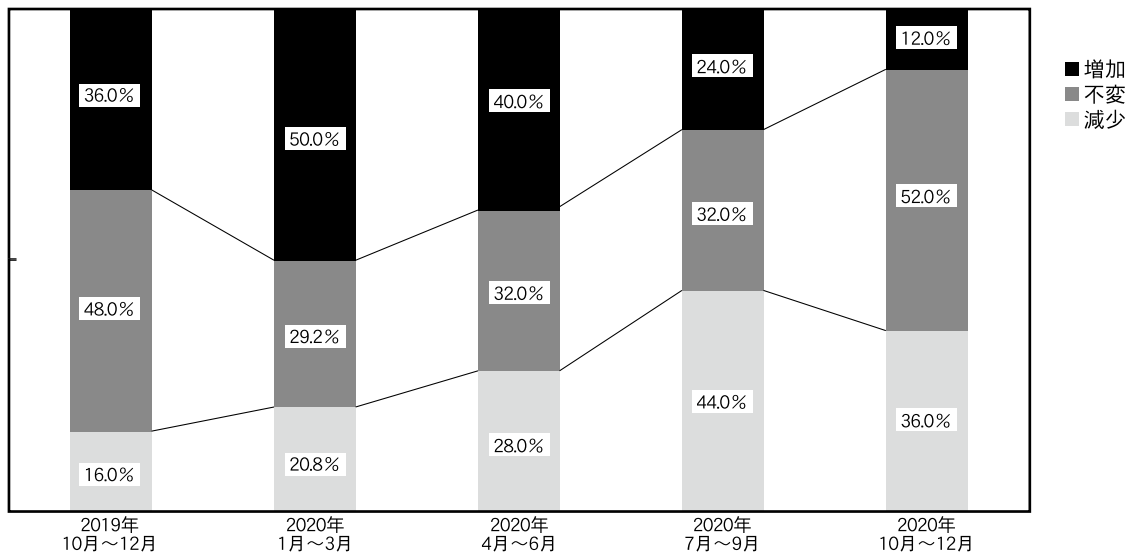


(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、12.0%（3社）と減少（前期比▲3社）している。「不変」は52.0%（13社）と増加（前期比+5社）、「減少」は36.0%（9社）と減少（前期比▲2社）している。

山梨県 建設業 完成工事額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

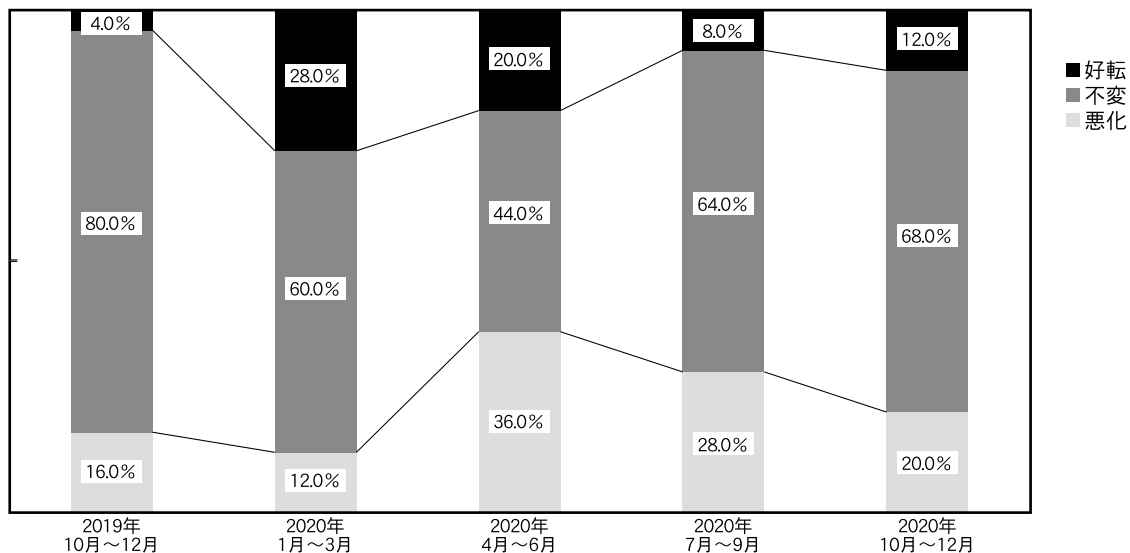
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、12.0%（3社）と増加（前期比+1社）している。

「不変」は68.0%（17社）と増加（前期比+1社）、

「悪化」は20.0%（5社）と減少（前期比▲2社）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

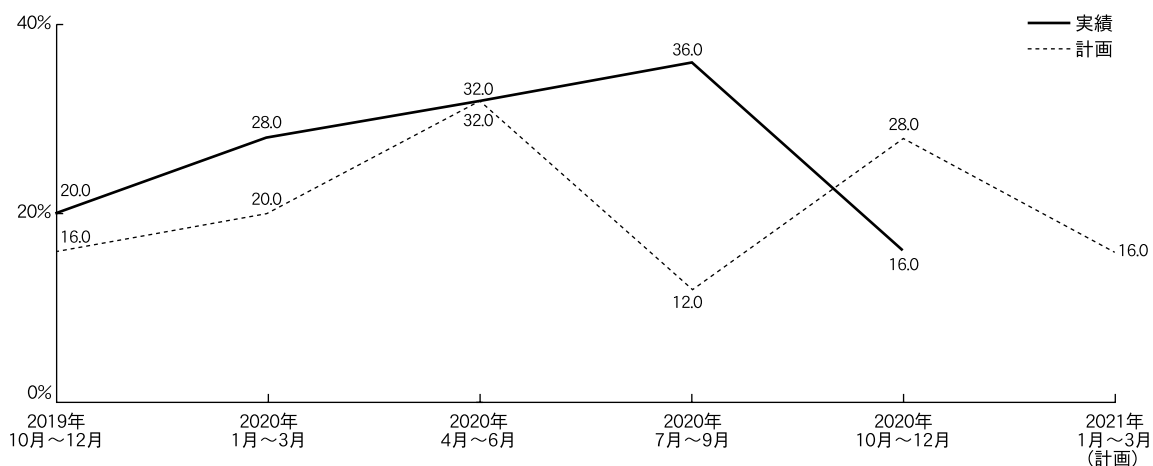


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は16.0%（4社）であった。その設備投資の内容は、「OA機器」が2件、「建設機械」「車両・運搬具」が1件ずつであった。

来期の計画についても、16.0%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」「OA機器」が2件ずつ、「建設機械」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数24社）

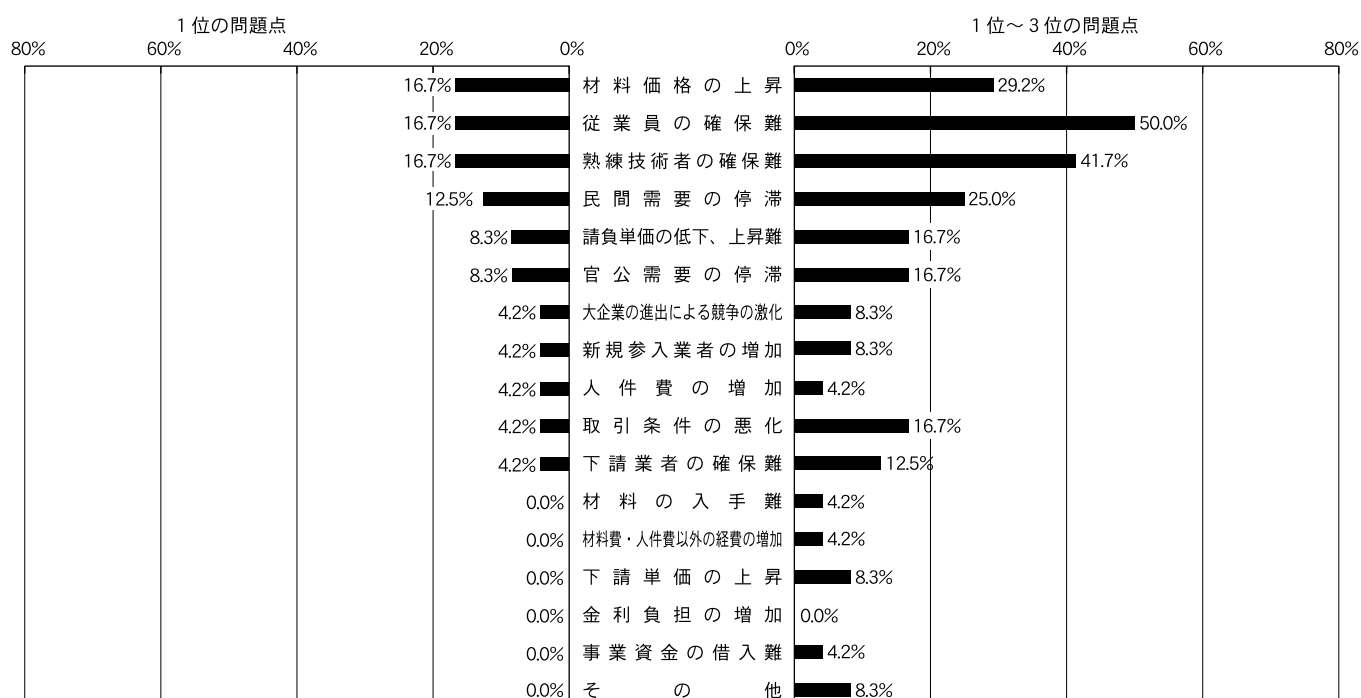
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「材料価格の上昇」「従業員の確保難」「熟練技術者の確保難」の16.7%（4社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「従業員の確保難」の50.0%（12社）であり、2番目に多かったのは、「熟練技術者の確保難」の41.7%（10社）である。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	17	68.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	4	16.0
合計	25	100.0

従業員規模別

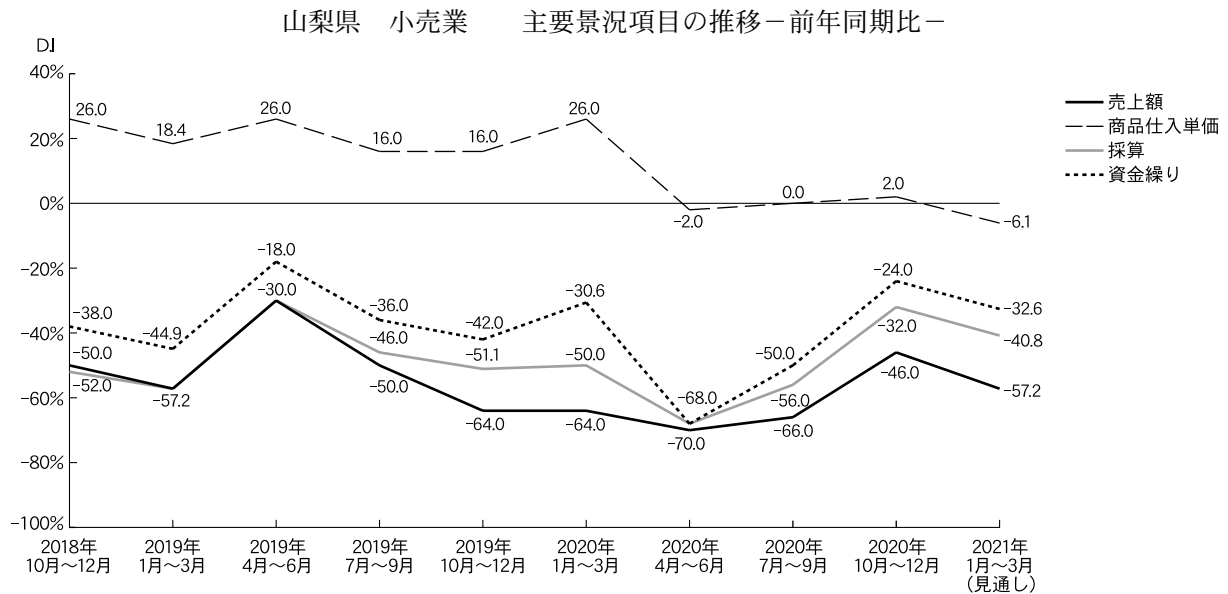
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	10	40.0	8	32.0
3人～5人以下	5	20.0	7	28.0
6人～10人以下	4	16.0	4	16.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
21人～50人以下	1	4.0	1	4.0
合計	25	100.0	25	100.0

4. 小売業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲46.0と前期比20.0ポイント大幅に改善しているものの、来期は▲57.2に悪化する見通しである。商品仕入単価D Iは、今期は2.0と前期比で2.0ポイント上昇（悪化）しているが、来期は▲6.1と下降（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲32.0と前期比で24.0ポイント大幅に改善しているが、来期は▲40.8と悪化の見通し。資金繰りD Iも、今期は▲24.0と前期比で26.0ポイント大幅に改善しているが、来期は▲32.6と悪化の見通しである。

今期は、商品仕入単価D I以外の全てのD Iが改善している。来期は商品仕入単価D I以外の全てのD Iが悪化の見通しである。



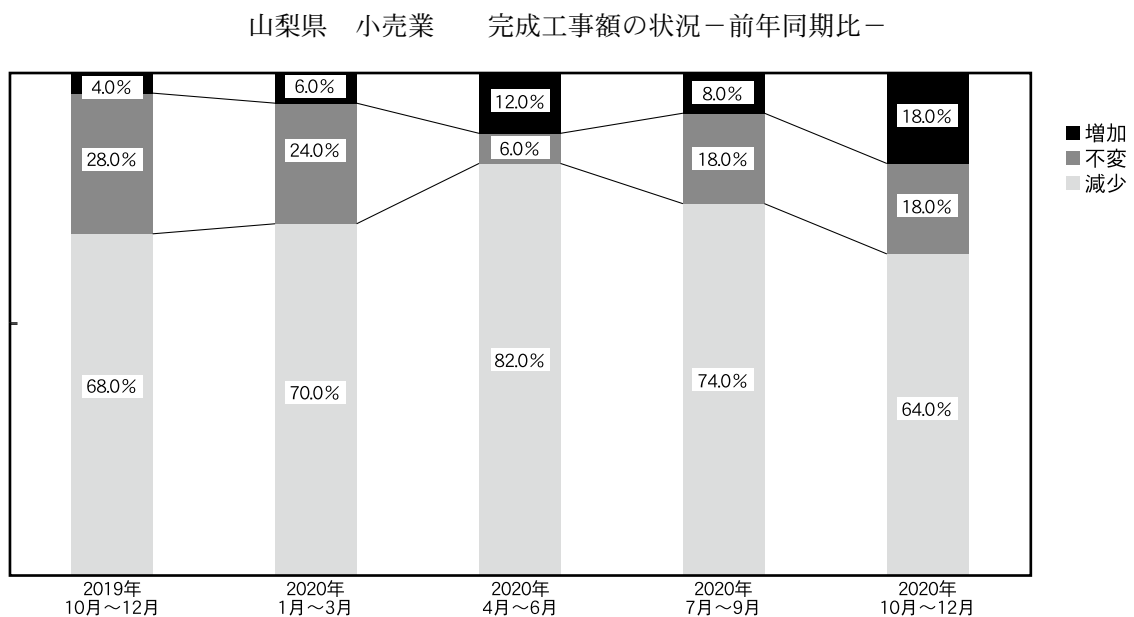
(2) 主な項目でみる業況

① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、18.0%（9社）と増加（前期比+5社）している。

「不変」は18.0%（9社）と変化なし、

「減少」は64.0%（32社）と減少（前期比▲5社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数50社））

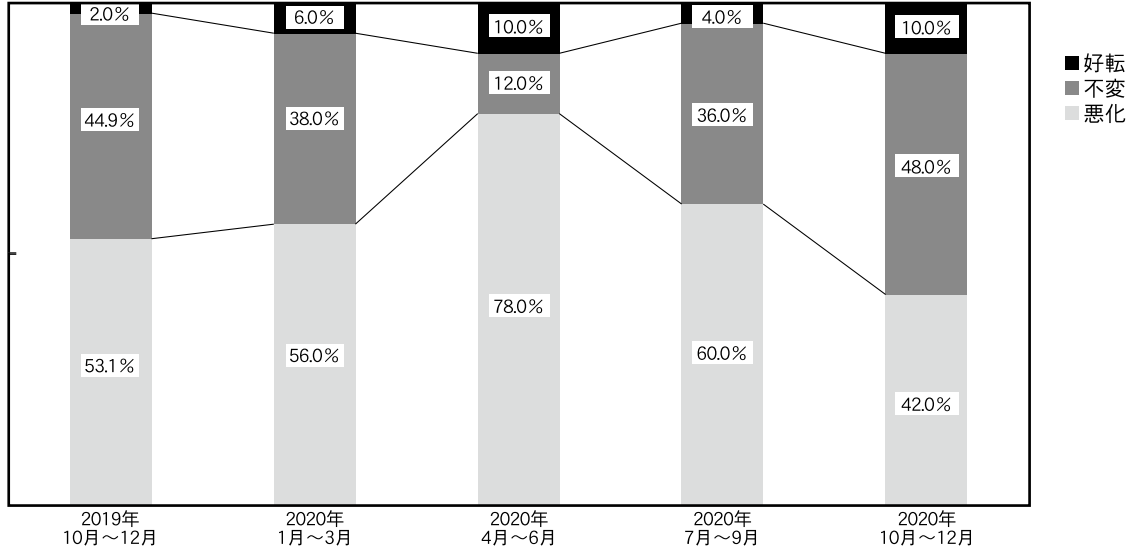
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、10.0%（5社）と増加（前期比+3社）している。

「不変」は48.0%（24社）と増加（前期比+6社）、

「悪化」は42.0%（21社）と減少（前期比▲9社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

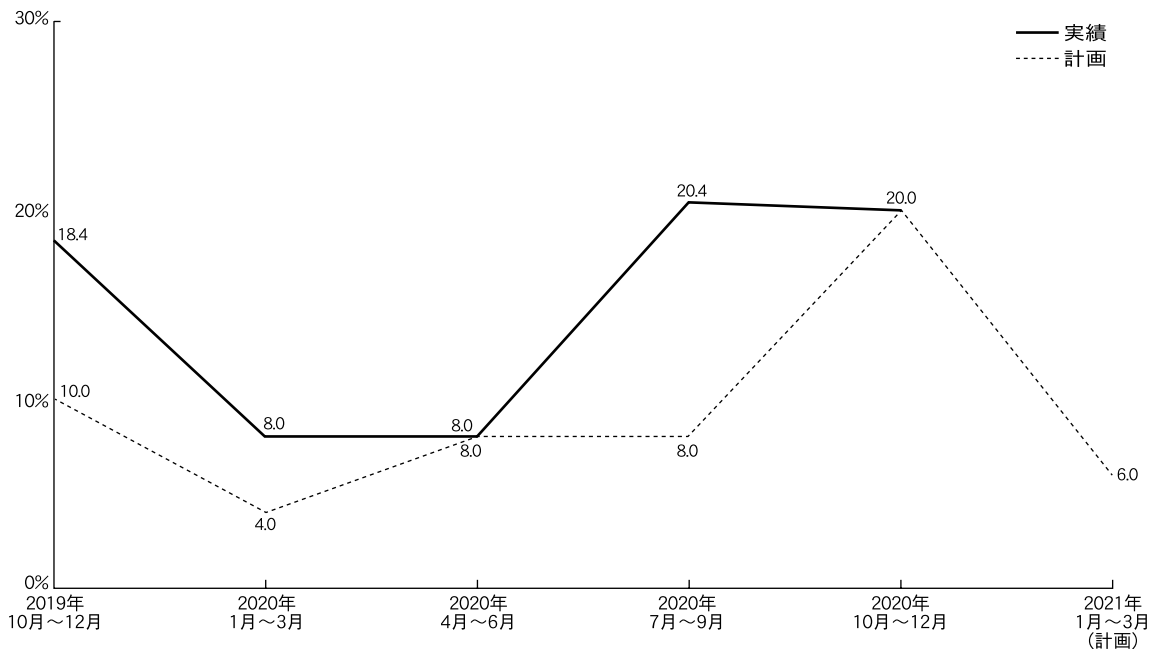


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は20.0%（10社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」「その他」が4件ずつ、「OA機器」が3件、「土地」「付帯施設」が1件ずつであった。

来期の計画については、6.0%（3社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「OA機器」が2件、「店舗」「車両・運搬具」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数45社）

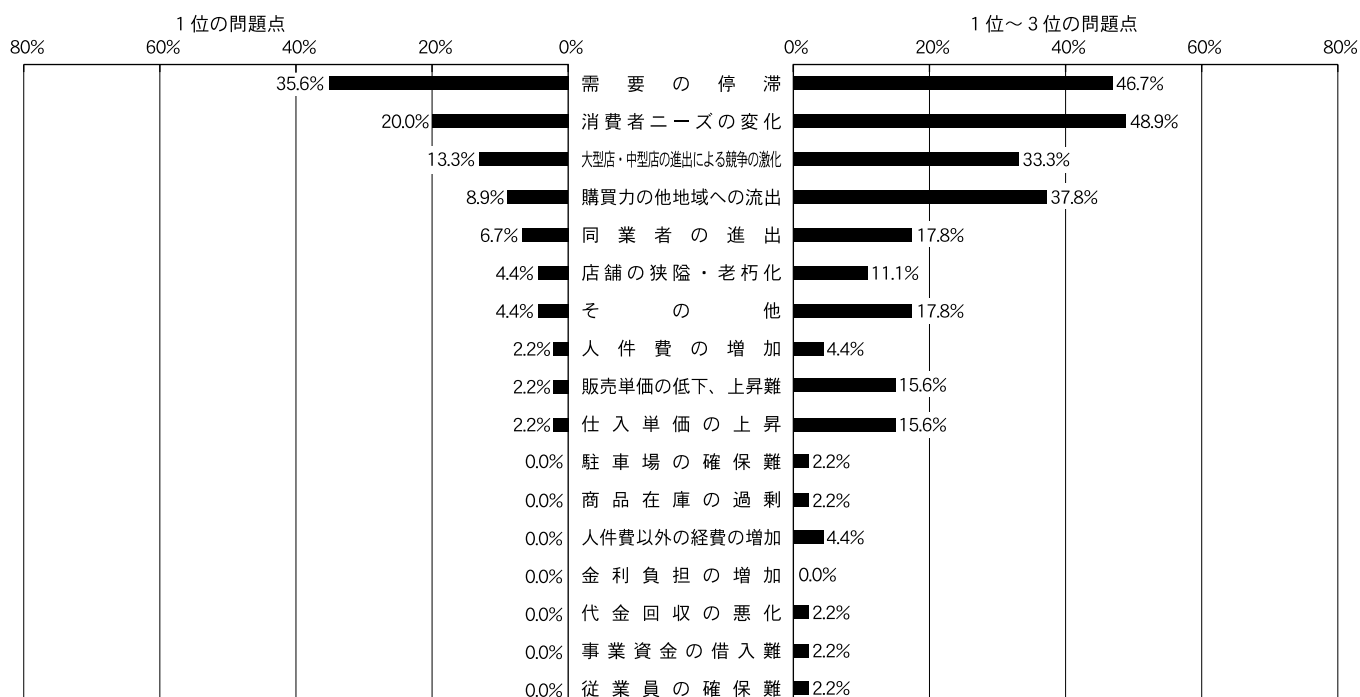
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは「需要の停滞」の35.6%（16社）であり、2番目は、「消費者ニーズの変化」の20.0%（9社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「消費者ニーズの変化」の48.9%（22社）であり、2番目は「需要の停滞」の46.7%（21社）である。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	10	20.0
飲食物品小売業	17	34.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	17	34.0
合計	50	100.0

従業員規模別

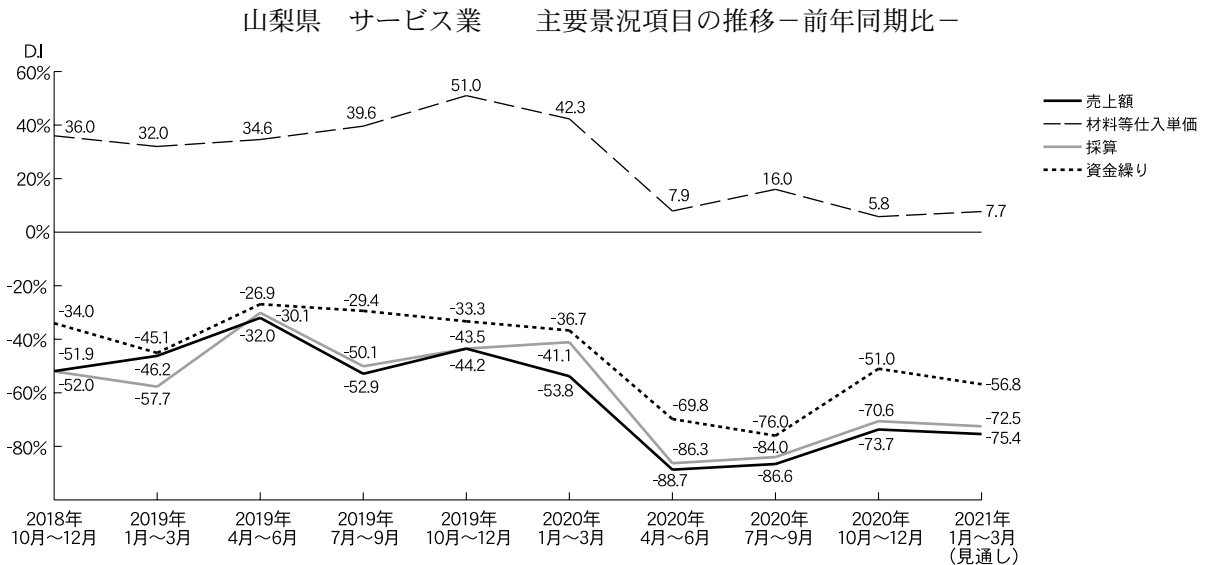
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	47	94.0	40	80.0
3人～5人以下	3	6.0	10	20.0
6人～10人以下	0	0.0	0	0.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	50	100.0

5. サービス業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲73.7と前期比で12.9ポイント改善したが、来期は▲75.4と若干の悪化の見通しである。材料等仕入単価D Iも、今期は5.8と前期比で▲10.2ポイント下降（改善）したが、来期は7.7と若干の上昇（悪化）の見通しである。採算D Iも、今期は▲70.6と前期比で13.4ポイント改善したが、来期は▲72.5と若干の悪化の見通しである。資金繰りD Iも、今期▲51.0と前期比で25.0ポイント改善したが、来期は▲56.8と悪化の見通しである。

今期は全てのD Iが改善し、来期は全てのD Iが若干程度ではあるが悪化の見通しである。



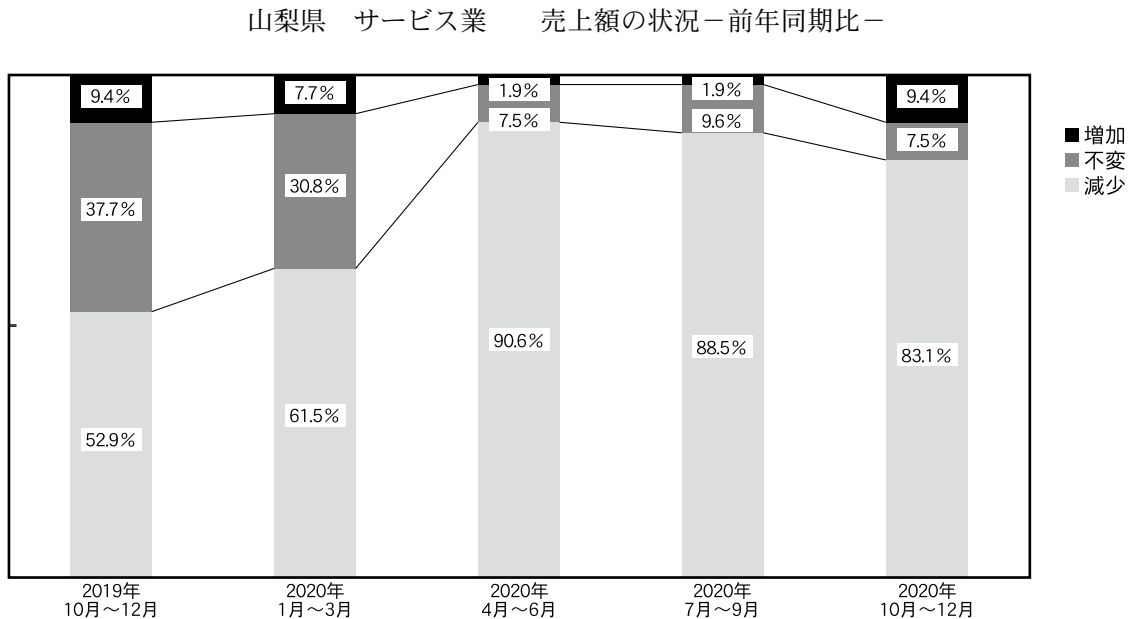
(2) 主な項目でみる業況

① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数53社（前回52社）））

「増加」と答えた企業の割合は、9.4%（5社）と増加（前期比+4社）している。

「不変」は7.5%（4社）と減少（前期比▲1社）、

「減少」は83.1%（44社）と減少（前期比▲2社）している。



② 採算（採算D Iの内容（回答企業数51社（前回50社））

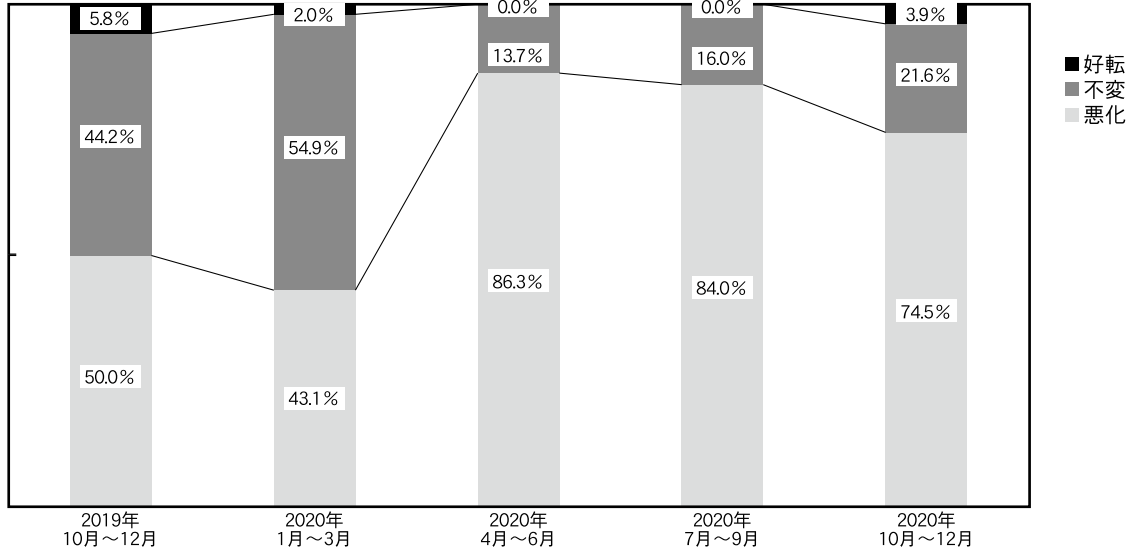
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、3.9%（2社）と増加（前期比+2社）している。

「不変」は21.6%（11社）と増加（前期比+3社）、

「悪化」は74.5%（38社）と減少（前期比▲4社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

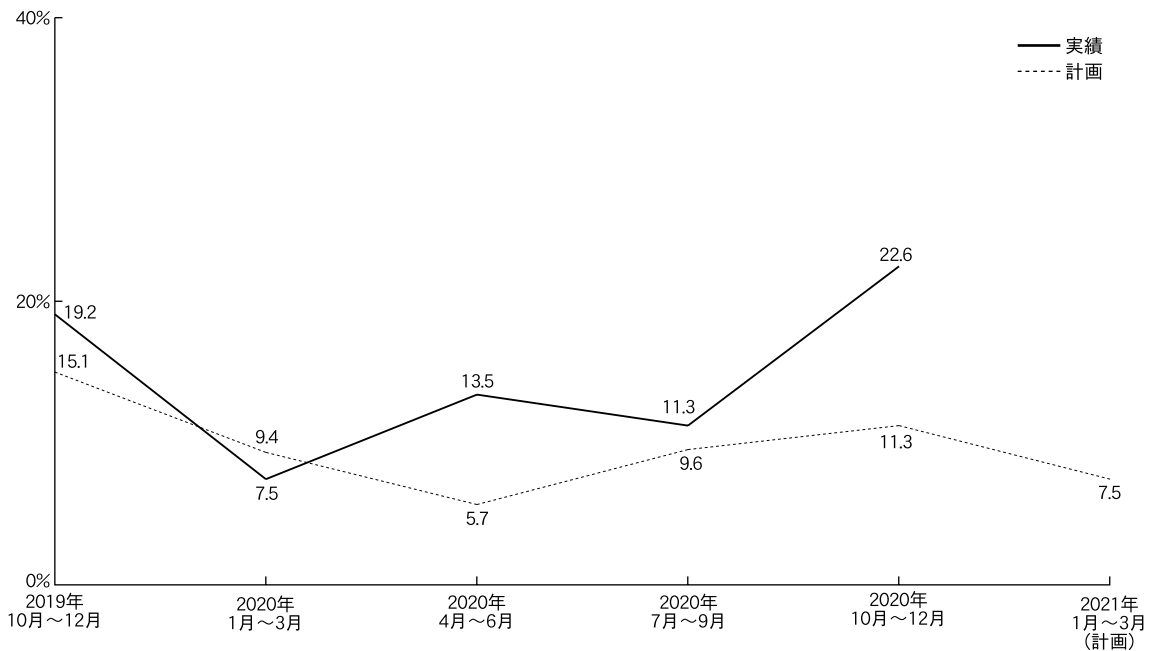


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数53社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は22.6%（12社）であった。その設備投資の内容は、「サービス」が6件、「その他」が3件、「付帯施設」が2件、「建物」「車両・運搬具」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、7.5%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「建物」が2件、「車両・運搬具」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数45社）

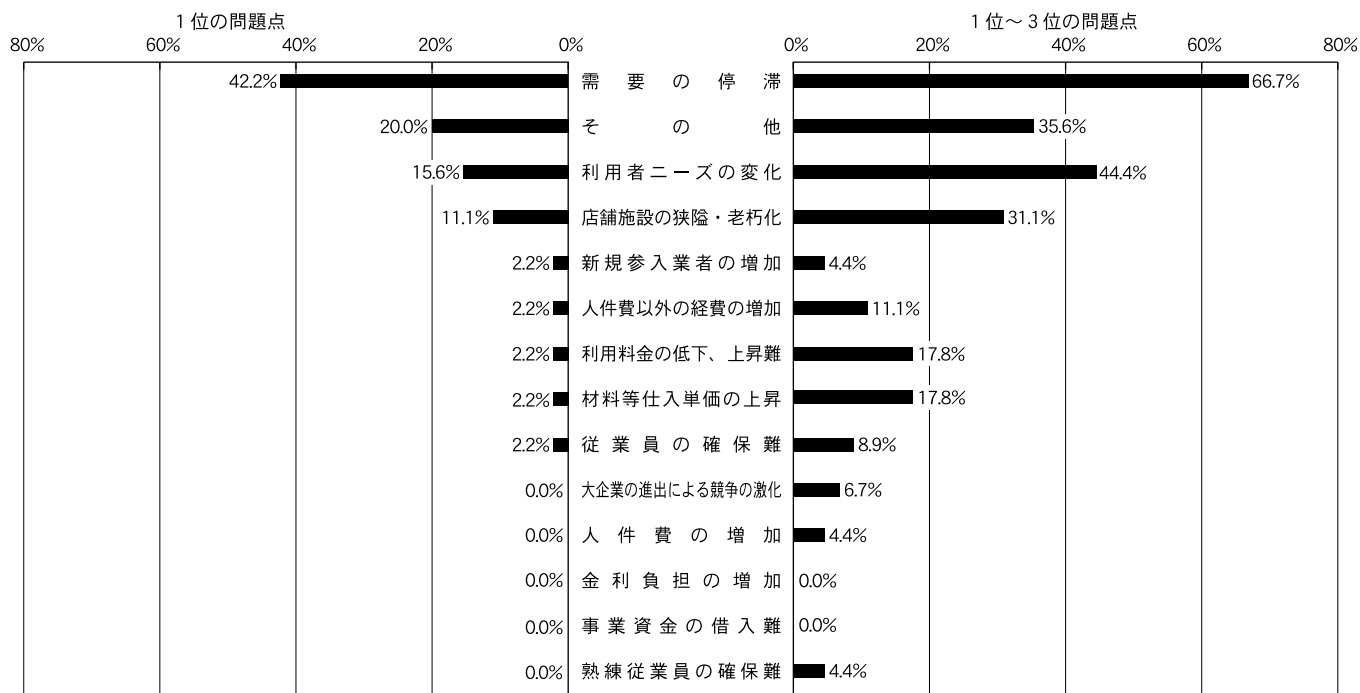
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の42.2%（19社）であり、2番目は、「利用者ニーズの変化」の15.6%（7社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の66.7%（30社）であり、2番目に多かったのは、「利用者ニーズの変化」の44.4%（20社）である。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	35.8
宿泊業	7	13.2
運送業	2	3.8
自動車整備業	4	7.5
洗濯・理美容業	18	34.0
その他のサービス業	3	5.7
合計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い			
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	45	84.9	40	75.5
3人～5人以下	8	15.1	12	22.6
6人～10人以下	0	0.0	1	1.9
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	53	100.0	53	100.0